

都市再生整備計画 事後評価シート

川俣駅周辺地区(第2期)

令和6年12月

群馬県 明和町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	明和町	地区名	川俣駅周辺地区(第2期)	面積	20.5ha					
交付期間	令和1年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	1,321.7 国費率 0.493							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名									
		提案事業	・地域創造支援事業(医療施設・保健センター整備事業) → 「誘導施設 社会福祉施設」として基幹事業に移行 ・事業活用調査(事業効果分析調査)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	・駅東口イベント元気広場	・関連事業に移行し地方単独で実施		・国庫補助から地方単独に移行しただけであり影響なし						
		提案事業	・駅西口バスターミナル整備事業	・関連事業に移行し地方単独で実施		・国庫補助から地方単独に移行しただけであり影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	・誘導施設:社会福祉施設(医療施設・保健センター整備事業) ・道路(町道2-507号線、町道2-267号線) ・地域生活基盤施設(駅西口ベデストリアンデッキ)	・提案事業から基幹事業に移行 ・駅東口へのアクセス、駅西口ターミナル等西口関連施設へのアクセスなど交通環境改善に寄与するため追加 ・来訪しやすい、子育てしやすいの魅力・環境創出のため追加		・指標に直接は関連しないため、数値目標は据え置く						
		提案事業	地域創造支援事業(総合的交通ネットワーク検証・策定業務)	・交通環境等の改善に寄与するため追加		・指標に直接は関連しないため、数値目標は据え置く						
	交付期間の変更	当初 変更	平成31年度～平成35年度 無し(令和1年度～令和5年度)	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	指標1	駅周辺地区の地価の向上	円/㎡	30,600	H29	30,600 R5	モニタリング 評価値 29,800(R6.1)	△	あり なし	● ●	目標値達成には至っていないが、R6/H29は0.974で、群馬県平均0.963、住宅用途平均0.961、第一種住居地域平均0.965、明和町平均0.966のいずれに対しても下落傾向は抑制されていたと言える。	-
	指標2	子どもの出生数の増加	人/年	75 一拠不明のため76に修正	H29	90 R5	34	×	あり なし	● ●	出生数は郡平均、県平均より減少傾向が強く、合計特殊出生率も低く、転出傾向が拡大、転入傾向は減少しており、5歳階級別には男女とも20歳代後半から30歳代前半の人口が減少しており、出生を評価するデータは現状では厳しい状況にある。	-
	指標3	高齢者1人当たりの医療費増の抑制	円/人	516,600	H29	516,600 R5	564,536 ～74:438,104 75～:652,589 歯科含む 589,785 ～74:465,209 75～:676,546	△	あり なし	● ●	厚生労働省「医療保険に関する基礎資料～令和3年度の医療費等の状況」(令和5年12月)によれば、令和3年度の国保計70歳以上575,972円、後期高齢者939,766円、公益社団法人国民健康保険中央会「令和5年度 参考資料(年間資料)」(令和6年6月28日)によれば全国平均955,904円、群馬県867,624円となっている(歯科含む)。65歳以上で集計した本指標とは単純比較できないが、少なくとも、後期高齢者一人当たり医療費については、全国、群馬県より抑制されていたと言える。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	その他の数値指標1	川俣駅改札口から医療・保健センター複合施設各階までのアクセス時間短縮、運動量・負荷の低減	秒 kcal	0	R6 ベデストリアンデッキなし	時間短縮 3階:88～117秒 2階:44～73秒 1階:0～37秒 運動量・負荷の低減 3・2階: 0～4.9kcal 1階:0～6.2kcal	時間短縮 3階:88～117秒 2階:44～73秒 1階:0～37秒 運動量・負荷の低減 3・2階: 0～4.9kcal 1階:0～6.2kcal	△	あり なし	● ●	駅改札・自由通路から医療・保健センター複合施設がベデストリアンデッキの整備によって3階レベルで接続できたことによって、上下移動の階数・回数の削減、歩行距離の短縮などが図られ、時間短縮ばかりでなく、医療・保健センター複合施設を利用する、ベビーカー、抱っこ紐利用などの子育て世代や車椅子、杖利用などの高齢者世代の運動量・負荷の低減も実現できたものと考えている。	-
	その他の数値指標2	保健センター開設年度(令和3年11月)以降の増加種別数	種別	-	R3	8種別	8種別	△	あり なし	● ●	生活習慣病予防(R3実績72人、R4実績79人、R5実績80人:以下年度は略す)、肝炎ウイルス検診(34人、88人、185人)、大腸がん検診(720人、803人、810人)、胃がん検診(285人、428人、440人)、子宮がん検診(152人、402人、244人)、乳がん検診(187人、358人、187人)、骨密度(38人、73人、60人)、歯周病(16人、67人、58人)計8種別で令和4年度または5年度にかけて増加/全健診受診者(3,568人、4,089人、3,757人)保健センター開設による効果と想定される。	-
4)定性的な効果発現状況	医療・保健センター複合施設の整備、ベデストリアンデッキの整備に伴い、保健センター、医療施設、飲食店、会議室などの利用などを通じて、利用者の往来・滞留時間の拡大などが進んでおり、川俣駅周辺の拠点性が高まっているものと考えられることができる。											
5)実施過程の評価		実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	第一期計画に継続して、川俣駅乗降客数について調査した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ● ・同様の調査を継続する。				
	住民参加プロセス	「明和まちづくり会社設立検討委員会」を開催し、まちづくり会社設立に向けた検討を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ● 設立された株式会社邑楽館林まちづくりにおける活動展開に期待する。				
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり会社の設立、まちづくり会社の活動。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ● 当初計画時点から「まちづくり会社の設立」を準備中であることを明らかにしており、平成31年2月に民間事業者「株式会社邑楽館林まちづくり」が設立された。各種事業を展開しており、今後の事業活動に期待する。				

川俣駅周辺地区(第2期)(群馬県明和町) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
目標 ・駅前のにぎわい再生による都市の資産価値向上 ・「イクボスのまち明和」の実現に向けた女性の働きやすさ、子育てしやすさに配慮した都市環境の創出 ・高齢者の健康増進・介護予防 ・災害に強い市街地形成に関する対策の実施	駅周辺地区の地価の向上	単位: 円/㎡	30,600 H29	30,600 R5
	子どもの出生数の増加	単位: 人/年	75 H29	90 R5
	高齢者一人当たりの医療費増の抑制	単位: 円/人	516,600 H29	516,600 R5
		単位:		
		単位:		

まちの課題の変化	内容
まちの課題の変化	・居住誘導地区内の人口維持に寄与するため、引き続きイベント開催や適切な維持管理が必要である。
	・複合商業施設の竣工は令和7年2月と見込まれ、安全かつ着実な進捗を期待する。
	・策定した総合的交通ネットワークの方針に基づき、総合的な交通ネットワークの形成に努めていく必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・引き続き各施設運営事業者による活動を促進するとともに、必要に応じた連携主体間の協力に努める。 ・総合的交通ネットワークの方針に基づき各種事業を推進、促進する。